

旧RD最終処分場問題 アーカイブの作成に係る住民インタビュー方針(案)

1 インタビューの目的

旧RD最終処分場問題のアーカイブを作成するにあたり、住民の方々による事案の振り返りに係る記録を後世に残していくため。

2 インタビュー掲載箇所

アーカイブ(総括編) 第2部第7章(事案全体の振り返り)

3 インタビューの対象

旧RD最終処分場問題に長年にわたり関わってこられた地元住民の皆様

4 インタビューの相手方の選出方法

7自治会からの推薦を受けた住民(各自治会の合計で7名)

5 インタビューの実施場所

インタビュー対象者の決定後、各対象者と県で相談のうえ決定
(自治会館、県施設等を想定)

6 想定されるインタビュー項目

- (1) 旧RD最終処分場における問題発覚や対策工事の合意等における、私とRD問題との関わり
- (2) RD問題を振り返って思うこと
- (3) この地域の将来に望むこと

7 アーカイブへの反映方法

自治会、氏名および必要に応じ経歴等ならびにインタビュー結果を掲載する。

(例、「〇〇自治会 △×さん(平成〇年度～平成×年度自治会長)へのインタビュー結果」)

なお、希望者によっては氏名部分をイニシャル表記とする。(例、〇〇自治会 Aさん)

8 留意点

- (1) 他の住民の中傷等に係る発言

アーカイブの作成目的は、廃棄物の不適正な処理等に係る同様の事案の再発防止に向けたものであるため、次の事項に該当すると考えられる発言については、アーカイブに掲載しないこととする。

ア 特定の個人や自治会を中傷・揶揄するような発言や、不利益になるような発言

イ 社会通念上アーカイブに掲載するには不適切と思われるような発言

(2) インタビュー内容の確認・修正について

インタビューにおける発言内容の趣旨等を確認する必要があると県が判断した場合は、発言事項に係る記録を調査のうえ、インタビュー対象者に確認し、修正の可否を伺うこととする。

住民インタビューのイメージ

【住民インタビュー①】A自治会 ○○○○さん(平成○年度～平成×年度自治会長)
「住民の視点からRD問題を振り返って」

【想定している内容】

- ① 私とRD問題との関わり
- ② RD問題を振り返って今思うこと
- ③ この地域の将来に望むこと

【住民インタビュー②】 B自治会 Aさん
「住民の視点からRD問題を振り返って」

【想定している内容】

- ① 私とRD問題との関わり
- ② RD問題を振り返って今思うこと
- ③ この地域の将来に望むこと

旧RD最終処分場問題 アーカイブの作成に係る県職員ヒアリング方針(案)

1 ヒアリングの目的

アーカイブ総括編における旧RD最終処分場問題に関する県の対応の検証については、行政対応検証委員会(以下「委員会」という。)における検証結果を基本とするが、RD社への指導等や住民の方々への説明を直接行っていた職員に追加的な聞き取りを行うことで、アーカイブ作成における経緯の整理に資するため。加えて、行政対応検証委員会における報告書提出後についても、同様に経緯の整理が必要であるため。

2 ヒアリング内容の反映箇所

アーカイブ(総括編) 第1部第1章から第4章まで

3 ヒアリングの対象者

旧RD最終処分場問題に関わってきた県職員※のうち、4 ヒアリング項目の内容に応じ、当時当該業務を担当していた職員

なお、ヒアリングにあたっては、当該職員自身のヒアリング実施に係る同意を事前に得ることを前提とする。

※ヒアリング時点で退職済みの元県職員を含む

4 ヒアリング項目

連絡協議会で職員へ聞き取り調査を行う旨の意見があった事項を中心にヒアリングを実施する。

(想定されるヒアリング項目の案)

- ・埋立容量の許可に係る経緯
 - ・対策工事の合意に係る経緯、県と住民の認識の違い
 - ・有害物質調査に係る経緯
 - ・県の旧RD社への認識
 - ・住民からの通報に係る対応の経過
 - ・行政対応検証委員会からの評価に対する受け止め
- 等

アーカイブ（総括編）

※タイトルは今後協議して決定します。



令和 年（ 年） 月
旧R D最終処分場問題連絡協議会

目次

目次

はじめに

- (1) アーカイブ作成の趣旨
- (2) RD問題の経過（概要）

第1部 事実関係の整理

第1章 RD問題の発生

- (1) 旧処分場設置前の状況
- (2) 旧処分場の設置と設置後の推移
- (3) 旧処分場での不適正処分（概要）

第2章 不適正処分および県の対応の経過（処分場の設置から旧RD社の破産手続開始まで）

- (1) 処分場の設置届出から硫化水素ガス発生前まで
（昭和54年（1979年）11月～平成11年（1999年）10月）
- (2) 硫化水素ガス発生から4項目の改善命令前まで
（平成11年（1999年）10月11日～平成13年（2001年）12月25日）
- (3) 4項目の改善命令から旧RD社の破産まで
（平成13年（2001年）12月26日～平成18年（2006年）6月8日）

第3章 県の対応の経過（旧RD社の破産手続開始から二次対策工事の実施合意まで）

- (1) 旧RD最終処分場問題対策委員会（平成18年12月～平成20年3月）
- (2) 「原位置浄化策」の提示から予算計上見送りに至るまで
（平成20年（2008年）5月～平成21年（2009年）2月）
- (3) 緊急対策工事の実施と恒久対策に向けた話し合い（平成21年2月～平成22年8月）
- (4) 旧RD最終処分場有害物調査検討委員会（平成22年10月～平成24年9月）
- (5) 一次対策工事に係る合意と実施
（平成22年（2010年）8月～平成24年（2012年）10月）

第4章 県の対応の経過（二次対策工事の実施合意以降）

- (1) 二次対策工事に係る合意と実施
- (2) 旧RD最終処分場問題連絡協議会の設置
- (3) 旧処分場敷地の県有地化
- (4) 生活環境保全上の目標の達成
- (5) 対策工の有効性の確認

第5章 栗東市（町）の対応の経過

第2部 振り返り

第6章 第三者委員会による行政対応の総括と再発防止・責任追及に係る県の取組

- (1) RD最終処分場問題行政対応検証委員会での検証
- (2) 再発防止および事業者責任追及に係るRD最終処分場問題行政対応追加検証委員会での検証
- (3) 再発防止に係る県の取組
- (4) 責任追及

第7章 RD問題を振り返って

- (1) RD問題全体について
- (2) 県の対応について
- (3) 連絡協議会・地域社会としての取組について

住民インタビュー掲載予定箇所

第3部 未来に向けて

第8章 未来に向けた取組

- (1) 行政の改善
- (2) 地域社会の動き
- (3) 今後の取組
- (4) 未来世代に向けた取組

おわりに

住民代表・行政・アドバイザーからのメッセージ

巻末資料

- (1) RD問題関係年表（詳細）
- (2) 関係資料
- (3) 用語の解説
- (4) 空中写真

参考文献